

横浜北支部の夏合宿は子供から大人まで合同で行われます。



普段は一緒に稽古する機会のない年齢層の方々と寝食を共にすることで、道場では味わえない年齢を越えた交流が生まれるようです。



今回は少年部ながらバーベキューで大活躍してくれた仲町台道場の奥村晟君にレポートを書いてもらいましたので掲載します。(原文のまま)

合宿のバーベキュー

おく村 あきら

ぼくは、合宿のバーベキューでやきそばや野菜いためを作っていました。始めは、一ぱん部の人達といっしょに作っていましたが、後から、小学生の男の子たちもいっしょに手伝ってくれました。



作っていると中、みんなに、社長とよばれ、ぼくは指示を出す役目となりました。食事のど中、何も食べれなかった小学生は、一ぱん部の人達といっしょにのこった物を食べていました。

八木沼先生が、手伝ったごほうびに、アイスをごちそうして下さいました。その後少しだけのこったものを食べて、部屋にもどりました。

ぼくは、合宿のバーベキューで、作っている時、自分の指示が正しいか心配だったけど、みんなに美味しいと言ってもらえて自分の指示が正しかったんだと思い、うれしかったです。



ぼくは、この合宿のバーベキューで、人に指示を出す責任感を知って、また一つ成長することが出来ました。



合宿のバーベキュー
おく村 めきら
ぼくは、合宿のバーベキューでやきそば、野菜いためを作っていました。
始めは、一ばん組の人達といっしょに作っていましたが、後から、小学生の男の子達もいっしょに手伝ってくれました。
作っている中、みんなに「社長とよばれ、ぼくは指示を出す役目になりました。」
食事の中、何も食べられなかった小学生は、一ばん組の人達といっしょにのこ、お物を食べていました。
八木沼先生が、手伝ったほうびに、アイスをこちそうして下さいました。
その後少しだけのこ、お物を食べて、部屋にもどりました。
ぼくは、合宿のバーベキューで、作っている時、自分の指示が正しいか心配だったけど、みんなに「おいしい」とき、もうえて自分の指示が正しいか、たんだ、うれしい、うれしかったです。
ぼくは、この合宿のバーベキューで、人に指示を出す責任感を知って、また一つ成長する事が出来ました。

✕ 閉じる